

消防だより

No.70



Tokamachi Fire Department

平成22年12月10日

火の用心

この写真は何をしているところか分かりますか？

これは雪に埋もれた消防水利（防火水槽）から吸水できるかを実際に行った訓練です。消防車が到着しても、このような状態では放水するまでに大幅に時間がかかってしまいます。

特集

冬の危険から命を守る

※雪の中の様子

防火水槽

雪との戦い！を十日町地域消防本部ホームページで公開中！

十日町消防

検索

click!



警防課 警防係

火災が発生した場合、消防車は消火栓・防火水槽から吸水し放水します。街のあちこちに左の写真のような看板があるのを知っていますか？
十日町市と津南町には、消火栓や防火水槽などが約2,000基あります。

消火栓・防火水槽に関する問い合わせ：警防課警防係 025-757-1558 (内線 233)

消防水利 (消火栓・防火水槽) の除雪にご協力願います

降雪時、消防署、消防団では全力を挙げて消防水利の除雪作業を行っています。降雪直後などは除雪が間に合わないことがあります。

火災が発生した場合、消火栓や防火水槽などが雪に埋まっています。迅速な消火活動ができません。このため、皆様のお近くの消火栓や防火水槽の除雪にご協力をお願いします。

警防課 救急係

除雪中は思わぬケガをする危険が多くあります。昨年度、雪に関する事故は39件発生しました。雪おろし時の屋根からの転落や除雪機に手を挟まれるといった事故が多く発生しました。無理をせず、自分のペースで行うと共に、家族に作業することを告げることが大切です。

屋根から転落！滑って転んだ！むやみに動かさないで！

高いところから落ちて首や背中が痛い！出血した！その時は…

- 1 首を動かさないようにしてください。特に首には手足を動かす大切な神経が通っています。
- 2 出血がある場合は、きれいなタオルやガーゼで出血部分を強く押さえて止血をしましょう。
- 3 冬は特に保温が大切です。ケガをしたときは毛布や布団などでしっかりと保温をしましょう。

救急・普通救命講習会に関する問い合わせ：警防課救急係 025-757-1558 (内線 232)

消防署 防災救助係

冬期間、川や流雪溝への転落を地域の力で防ぎましょう

冬季間の川や流雪溝は、流れが速く水温も低いため転落すると、即、命にかかります。この危険を回避するためのことに気をつけましょう。

- 1 地域の危険箇所を把握しましょう。
- 2 川に雪が積もると中が空洞になります。近くで子どもを遊ばせないでください。
- 3 流雪溝の蓋を開けるときは、転落しないような措置を講じてください。

消防署 防災救助係 025-757-0119 (内線 241)

いよいよ雪の季節を迎えます。雪による事故を防ぐため皆さんの力が必要です。

地域の安心・安全を守る

地域×消防



写真中央
松代区長 中村昭次 (松代・73歳)
今後も自治会が一体となって、地域ぐるみで環境づくりと家庭の防火・防災行動力を高めていきたいと思います。

松代地区 住宅用火災警報器 説明会にて

写真右
松代方面隊分隊長 小野島 友美 (松代・36歳)
その一方で人や地域のためには役立ちますが、いかに安全確保をします。

冬の危険から命を守る力

冬季に多発する事故を知っていますか？
冬と言えば雪！十日町市と津南町は日本有数の豪雪地帯。この豪雪地帯には特有の事故があります。雪おろし時の転落事故、除雪機による事故、流雪溝への転落、またスキーなどのウィンタースポーツでの事故、そのほかにも灯油の流出など、豪雪地帯ならではの危険がたくさんあります。

今回は、こういった危険から命を守るための予防策を紹介します。

大雪の日に火災が…最悪の状況を考える…
住宅火災が発生！煙は階段をのぼり就寝中の家人に容赦なく迫る。焦げた臭いと熱気により火災に気付いた家人は、玄関へつながる廊下へ飛び出す。しかし、煙が充満し動けない。住宅用火災警報器がなく火災に気付くのが遅れたのだ。玄関へ行くのをあきらめ、裏の勝手口に死に物狂いでたどり着く。扉を開け出ようとするが無情にも開かない！昨日の雪おろしの雪が邪魔をしていた。家人は絶望の中動けなくなった…

その頃、近所の人が異変に気付き119番通報する。消防車出動！しかし積雪により道路状況が悪化し思うように進行できない！やっこの思いで現場にたどり着き、ホースを延長し放水態勢に入るが、いつまでたっても水が送られてこない。消火栓・防火水槽に雪が積もり、消火に必要な水をすくりに取水できない状況であった…無情にも火災は炎を拡大していく…

このように、雪は災害時大きな障害となります。積雪が多ければ多いほど、初期消火や通報などの初動対応が重要となってくる。

地域の力の必要性
自治会や消防団は、災害発生初期の連絡体勢や初期消火などに大きな力を発揮します。もちろん災害予防という面でもその広いネットワークを活用し、住宅用火災警報器の普及では、大きな成果を挙げています。このように、地域の中核である自治会や消防団は、特に昨今の高齢化社会においては力強い存在となっています。さらに防災力は高まります。

降雪期を迎え冬特有の事故が心配されます。身近に起こりうる事故をはじめ、あらゆる災害に対応するためには地域と消防の連携が不可欠なのです。

地域と消防が連携し 地域防災力を高めましょう

住宅用火災警報器の全世帯設置まで『あと半年！』

どこに設置したらいいの？住宅用火災警報器！
むずかしく考えないで！
基本は **寝室と階段** に設置です。

十日町地域専用 住警器診断 QR コード



十日町地域消防本部では、携帯電話で手軽に行える「住警器診断」を作成しました。「自分の家には何個？どこに？」といった、疑問を解決できる画期的な方法です。この地方独特の【高床3階式】にも対応したこの「住警器診断」を是非ご利用ください。

住宅用火災警報器に関する問い合わせ：予防課 査察指導係 025-757-1557 (内線 262)

予防課 査察指導係

住宅用火災警報器は平成23年6月1日から全ての住宅に設置が義務付けられます。火事なんて自分に関係ないと思っていまいませんか？その住宅用火災警報器が大切な家族やあなたの命を守ります。



予防課 予防係

火災のときのため2方向に避難できるように除雪しましょう

建物火災の出火原因の上位は、コンロ、ストーブ、たばこによるものです。そこで！3つの約束をお願いします。

- 1 コンロを使用するときは、絶対に離れないでください。離れるときは、コンロの火を消しましょう。
- 2 ストーブの上で洗濯物を干さないようにしましょう。
- 3 寝たばこは絶対やめましょう。

火災・消防用設備等に関する問い合わせ：予防課 予防係 025-757-1557 (内線 263)

雪おろしなどで、家屋は長期間雪に埋もれます。その雪は、火災の配管などを破損させることもあります。雪おろしをした後は、家の周りを確認し、避難口の確保をお願いします。

予防課 危険物係

灯油小出し中の合言葉『給油中、じっとガマンの2分間』

油流出を防ぐためのポイント！

- 1 その場を離れない。目を離さない。
- 2 バルブを閉めたか確認。
- 3 屋根からの落雪や除雪時の配管破損に注意しましょう。

危険物に関する問い合わせ：予防課 危険物係 025-757-1557 (内線 261)

灯油小出し中の合言葉『給油中、じっとガマンの2分間』

毎年、この季節になるとホームタンクからの灯油流出事故が多発しています。石油類の流出は、火災危険、河川の環境悪化などにつながり、回収などに多額の費用がかかる場合があります。取り扱いには十分に注意してください。



歴史と伝統を継承

先代車両は昭和56年に配備され、29年間にわたり火災、自然災害、防火広報など幅広く活用されました。忘れてはならないのが土市消防団の「第11回全国消防操法大会出場」です。今回は、当時部長だった、上村朋也さん（土市・58歳）に話を聞きました。

― 当時を振り返って

当時の消防長、署長から「来年十日町市で開催される県大会で優勝して絶対に全国大会に出場しなきゃいけないぞ」とプレッシャーをかけられた中で、の県大会優勝でした。うれしい反面、不安な気持ちでいっぱいでした。

― 全国大会出場

「同僚団員の協力＝選手の訓練専念」この一言だったと思います。旧16分団内の各班からホース巻きに来てくれ、分団全体で選手を盛り上げてくれました。

そして、家族はもちろん、勤務先と地域の協力でした。当時は「仕事と消防団活動は全くの別物、仕事が一番優先」という社会情勢の中で、選手が仕事とポンプ操法の両立ができるよう、当時の分団長（上村久夫元団長）にお願いし、消防本部から選手の各勤務先に協力依頼をしてもらいました。これは、選手から感謝されましたね。また、土市は大火の経験があり、地区住民の消防に対する意識も高く、地域全体で協力してくれてありがたかったです。全国大会では上位入賞とはなりませんでしたが、達成感是非常に強かったです。当時、訓練のためにそろえて



元自動車部部长 上村朋也さん × 現分団長 藤田久吉さん

買ったジャージは今も大切にっています。

― 今後期待することは

全国大会出場とは言いませんが、常に高い目標を持って日頃の訓練に励んでほしい。私は団員時代、「予防広報」が一番と考え、力をいれていたもので、今後も続けてもらいたい。

今までの土市自動車部の伝統・歴史を守り、今後はもっと活躍して、地域のために結束を強固にしてほしい。

と、熱い想いを語ってくれました。

藤田久吉分団長（談）

自動車部が更新されたことをきっかけに、消防団員一丸となって心新たに頑張りたいと思います。ポンプ操法だけでなく各種災害に対応できるように訓練し、歴史と伝統のある土市自動車部を継続するよう努力していきたいと思えます。



救助資機材搭載型車両を消防団に導入

総務省消防庁から貸与

十日町市消防団十日町方面隊 本部分団 多目的災害対応班（稲荷町）

平成21年度、本部分団では、防火幕班から多目的災害対応班に移行したことに伴い、より充実した救助資機材の装備が急務でした。

新車両は、各種大規模災害など多目的に活用できる「防災活動車」とし、今後の活躍が期待されます。



大規模災害対応 防災活動車

走行安定性の良い低床型シャーシに加え、4WD、ABS付きで雪道にも強く、救助資機材、AEDのほか管内では初搭載のB-2級小型動力ポンプを積載装備する。

Fire Topics

今後の防災、減災のために

平成 22 年度十日町市総合防災訓練を実施

中越大震災から 6 年が経過した平成 22 年 10 月 24 日（日）、防災意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを目的とした十日町市総合防災訓練が、十日町市松之山グラウンド駐車場周辺で行われました。

この日の訓練は「午前 8 時 56 分、中越地方を震源とする震度 6 強の地震が発生し、松之山地域の被害が特に大きく、随所で家屋倒壊、福祉施設の部分倒壊が発生」という想定で行われ、自主防災会による地域住民の避難誘導、初期消火、消防団及び関係機関による多数傷病者応急処置、はしご車や新潟県消防防災ヘリコプター（はくちょう）による高所救出、倒壊家屋救助、火災想定などの訓練が実施され、地域住民や関係者など約 350 人が参加しました。



▲倒壊家屋から十日町病院医師と連携しケガ人を救出

福祉施設入居者を施設職員
消防団員で避難誘導▼



訓練を見学する地域のみなさん

避難誘導訓練に入所者と一緒に参加した、特別養護老人ホーム「不老閣」事務長 井上俊さん（32 歳）は、「実際に災害が起きた場合、施設の職員だけでの入所者の避難誘導には限界があり、平日頃から自主防災会、消防団との連携、情報の連絡体制の重要性を感じました」と話していました。



秋の火災予防運動中 中条保育園児が火災予防 P R

（期間：H 22.11.9～H 22.11.15）

11 月 9 日（火）、中条保育園（渡邊百合子園長）の年長児 16 人が十日町市内の大型ショッピングセンターで、火災予防と住宅用火災警報器の早期設置を呼びかけました。

この日は、消防職員と消防団員とともに、来店した人たちに「火の用心をお願いします！」と呼びかけ、住宅用火災警報器 P R ポケットティッシュと絆創膏を配布しました。

火の用心を お願いします！



お客さんからは「ありがとうございます。ご苦労さま、頑張ってるね」と声をかけられ、園児たちの顔もほころんでいました。

赤色灯

「サイレンは鳴らさないで来てください」「救急車は緊急車両ですので、それはできません」「じゃあ来ていい!! ガチャ(切)断」これは 110 番通報時に実際にある問答です。このことについて考えてみましょう。

通報者の心情も分かります。「夜中に救急車騒ぎを起こしたら近所の迷惑だ。心配かけてしまう」というような気持ちになるものです。しかし、救急車のサイレンが近づいてくると、心待ちにしている方がいるのも事実です。

自分が、家族が苦しんでいる時に、このサイレン音は勇気を与えてくれます。心肺蘇生を実施している時、このサイレン音が近づいてくれば安心するでしょう。救急隊は一刻も早く現場に向かうため、赤信号の交差点に進入します。それはあなたの SOS にいち早く応えたいから……

緊急走行するには赤色回転灯とサイレン吹鳴が必要なのです。みなさんからのご理解、ご協力をお願いします。

また、火災・救急要請の際の電話番号は何番を押しますか？ほとんどの人が「119番」と答えますが、中には最寄りの分署・分遣所と答える人がいます。

最寄りの分署・分遣所の方が場所がすぐ分かる、融通が効くと思われるかもしれませんが、場所の把握や本部との連絡などかかっている間に時間がかかってしまいます。火災・救急要請は「119番」をお願いします。

今年一年間皆さんにとってどんな年だったでしょうか？目標を達成できたこと、やり残したこと、いろいろな思いがあると思います。師走の時期であつたけれど、また暴飲暴食する機会が多いと思いますが、健康に留意して、よいお年をお迎えください。

(啓)

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
編集 総務課企画広報係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
〒948-0036 新潟県十日町市北新田一番地10
http://www.tokamachi-kouki.jp/